

地域課題の可視化

研究の概要

- 東日本大震災で津波被災を受けた地域の地域自治会の再建について、現地でのアンケート調査などを実施しています。大規模災害時には地域課題が多く表面化すると考えられ、高齢化、地域のつながりの希薄化など、現地での地域コミュニティの維持、再建を研究しています。
- 被災地での学びは、三重県における災害への地域の備えに繋がります。それだけではなく、現地での学びは現在の私達の地域の課題解決につながると考えています。
- また、近隣市町からの受託研究のなかでは、近傍高等教育機関との連携によりアプリの開発を行ったり、地域の地形模型の作成及びそこへのGISデータの投射による住民ワークショップなどを実施しています。また、データ作成に関して無人航空機（ドローン）を活用した3Dモデルの作成を行っています。



地形模型作成の様子



宮城県でのアンケート

キーワード



- まちづくり
人口減少、高齢化などの地域課題を調査、報告する
- 社会教育
わかりやすく地域課題を伝える住民ワークショップの開催

連携アピール



- 複数年に渡り、伊勢志摩地域の自治体より受託研究を受託しています。地域課題をなるべくわかりやすく地域住民の方にお伝えし、解決策をともに考えるワークショップの実施を行っています。

研究者



池山 敦
IKEYAMA Atsushi

准教授

 教育開発センター

